

学習指導要領		スタンダード
(1) 暮らしと農業	ア 食と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国における農業就業人口の現状を知り、主な課題について理解する。 ・我が国における耕地面積の推移について知り、農地法の改正により、株式会社やNPO法人などに農地を貸し付けることができるようになったことを理解する。 ・農産物流通の仕組みを知り、食品の安全性や信頼性を高める取組（トレーサビリティなど）について理解する。
	イ 生活と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業には、食料供給機能や環境保全機能とともに、アメニティ保全機能や対人サービスの機能など多面的な役割があることを理解する。
	ウ 環境と農業	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系並びに生態系における物質循環について知り、農業が生態系や物質循環と大きなかかわりをもつことを理解する。
	エ 農業の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「食料・農業・農村基本法」制定の背景を知り、その基本理念について理解する。 ・我が国における食料自給率（カロリーベース）の現状を知り、主な課題について理解する。 ・食料自給、人間生活による廃棄物に由来する問題、生物多様性の喪失などの持続可能な社会をつくる上での課題を知り、環境保全型農業について理解する。

学習指導要領		スタンダード
(2) 農業生産の基礎	ア 農業生物の種類と特性	<p>【作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な作物の自然分類について理解する。 ・栄養成長と生殖成長について理解する。 ・花の構造を知り、両性花と雌雄異花について理解する。 ・種子の構造を知り、有胚乳種子と無胚乳種子について理解する。 ・種子の発芽に必要な三条件について説明できる。 ・春化と春化处理について理解する。 ・栄養器官と生殖器官の働きについて理解する。 ・作物の生理作用（光合成、呼吸、蒸散及び養水分の吸収）について理解する。 <p>【家畜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な家畜、愛玩動物、伴侶動物及び実験動物の用途について説明できる。 ・主なニワトリを卵用種、肉用種、卵肉兼用種に分類することができる。 ・反すう動物の食性について理解する。 ・家畜の性成熟について知り、ブタとウシの発情周期を理解する。 ・ウシの人工授精の方法について理解する。 ・ニワトリの就巢性について理解する。 ・雌鶏の生殖器の構造を知り、産卵の仕組みについて理解する。 ・卵の構造について理解する。
	イ 農業生物の栽培・飼育	<p>【栽培】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なたねまきの方法について理解し、作物に適した方法を選ぶことができる。 ・土の団粒構造と単粒構造について理解し、団粒の形成を促進するため、土に堆肥などの有機物を混ぜることができる。 ・肥料の三要素について理解し、肥料計算ができる。 ・マルチングの主な効果について理解し、作物に適したマルチ資材を選ぶことができる。 ・間引き、中耕、土寄せの主な目的について理解し、適切な時期に実施することができる。 <p>【飼育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制限給餌法と不断給餌法について理解し、家畜に適した飼料の給与ができる。 ・家畜に影響を及ぼす環境要因について理解し、飼育環境を改善することができる。 ・産卵率の計算方法を理解し、多産鶏と少産鶏を見分けることができる。 ・家畜伝染病予防法の目的について理解し、畜舎内に病原体をもち込まないための衛生管理ができる。 ・家畜排せつ物法の制定経緯について理解し、家畜の排せつ物を適切に

学科の特色に応じて題材として適切な農業生物を選定する

学習指導要領		スタンダード
(3) 環 境 の 調 査 ・ 保 全 ・ 創 造	ウ 育成環境の要素	<p>処理することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象的要素、土壌的要素、生物的要素など農業生物の育成環境について知り、育成環境の各要素が農業生物の生育に影響を及ぼすことを理解する。
	エ 農業生産物の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産物を原料とした主な加工食品について知り、農業生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することを理解する。
	オ 農業生産の計画・管理・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培や飼育に関するプロジェクトにおいて、計画の作成、観察、記録と分析、まとめと評価などを行うことができる。
	ア 環境の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の個体、植物群落や分布などの調査方法について知り、植物個体の生育が気候的要因、土壌的要因及び人為的要因に影響を受けることを理解する。
	イ 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・森林が大気浄化や国土保全機能、生物・生態系保全機能、アメニティ保全機能をもつことを理解する。
	ウ 環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地が大気汚染や騒音防止及び生活快適性の保持の機能をもつことを理解する。

学習指導要領		スタンダード
(4) 農 業 学 習 と 学 校 農 業 ク ラ ブ 活 動	ア 農業学習の特質	・農業生物の育成や環境の保全などの農業学習の特質について理解し、栽培・飼育や環境保全など実際の学習を継続して実施することができる。
	イ プロジェクト学習	・プロジェクト学習の方法について理解し、栽培・飼育や環境調査を主体的、計画的に実施することができる。
	ウ 学校農業クラブ活動	・学校農業クラブ活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について理解し、主体的、自律的に学習することができる。